

## 環境政策 多様な緑と水がつながり、快適な生活空間が広がるまちをめざす

### 【環境政策の目標】〔総合的目標〕

本市は多摩丘陵や多摩川崖線に存する樹林地や農地、多摩川をはじめとする河川や湧水、東京湾など多様な自然的環境資源に恵まれた地域です。こうした緑と水のつながりを充実させるために、その保全・創出・育成に取り組み、緑と水のネットワークを市域全体に広げ、豊かな水辺や健全な水循環が保たれ、快適な生活空間が広がり、良好な環境と安らぎが得られるまちをめざします。また、市域に生息する生物の生息・生育地の保全・創出に取り組み、生物多様性の保全に努め、身近に生き物とふれあえる機会の創出に努めます。

また、人口増加や都市の成長が当面続くと見込まれる本市で、良好な都市アメニティが得られ快適に暮らせるよう、優れた都市景観の形成や歴史的文化的遺産の保全・活用などを図ります。

環境要素		環境要素の目標
<b>緑</b>		緑の保全・創出・育成が進められ、緑のネットワークが市域全体に広がり、良好な環境と安らぎが得られること
環境項目	環境項目の目標	指標
樹林地	樹林地が保全されていること	□施策による緑地の保全面積（法・条例等により保全されている緑地面積）
農地	農地が保全されていること	□施策による農地の保全面積（農業振興地域農用地区域内農地、生産緑地地区内農地等）
緑化地	公共施設、道路等の緑化が進み、適切に管理されていること	□緑化地面積（市街地における緑化地創出面積）
公園緑地	大規模公園や身近な公園の整備が進められ、適切に管理されていること	□公園緑地面積（都市公園等の整備面積） □市民植樹運動累計植樹本数
その他の緑地	緑と水のネットワークが市内全域に広がるように緑地が保全・創出・育成され活用されていること	
環境要素		環境要素の目標
<b>水循環</b>		健全な水循環が保たれていること
環境項目	環境項目の目標	指標
水量・涵養	河川や湧水で四季を通じて生物が生息生育できる水量が確保され、健全な水循環が保全・回復されていること	□透水性舗装道路面積 □湧水地周辺整備数 □河川流量 □下水の高度処理普及率 □市民一人一日当たりの生活用水使用量
環境要素		環境要素の目標
<b>水辺</b>		豊かな水辺が保たれて、良好な環境と安らぎが得られること
環境項目	環境項目の目標	指標
水辺	豊かな水辺が保たれて、人を含む生物が自然の恵みを楽しむことができること	□環境整備延長 □河川流量
環境要素		環境要素の目標
<b>生物</b>		市域に生息生育する生物とその生息生育地が保全され、生物多様性が確保され、身近な生き物とのふれあいが得られること
環境項目	環境項目の目標	指標
植物	生物多様性に資するため、市域に現存する植物とその生育地が保全・創出されていること	□自然観察会等実施状況 □市内の動植物等確認種数

動物	生物多様性に資するため、市域に現存する動物とその生息地が保全されていること	<input type="checkbox"/> 保全管理計画作成地区数
----	---------------------------------------	--------------------------------------

**環境要素** **環境要素の目標**

**都市アメニティ** 良好な生活環境が得られ、快適に暮らせること

環境項目	環境項目の目標	指標
都市景観	地域の地形や文化に配慮し、川崎らしい美しさや個性のある、優れた景観が形成されていること	<input type="checkbox"/> 景観計画特定地区数 <input type="checkbox"/> 都市景観形成地区数
利用者に優しい公共施設	こどもや高齢者、障害者等に優しい公共施設であること	<input type="checkbox"/> バリアフリー導入施設数
歴史的文化的遺産	文化財、優れた歴史的遺産が適切に保全・活用されていること	<input type="checkbox"/> 指定文化財等件数
オープンスペース	市街地に広場やゆとりある空間が適切に配置されていること	<input type="checkbox"/> 公園緑地面積（都市公園等の整備面積）
レクリエーション施設	市街地にレクリエーションを楽しめる施設が適切に配置されていること	<input type="checkbox"/> レクリエーション施設の数

総合的な評価に用いる指標

施策の方向	指標	総合的な評価に用いるもの
Ⅲ-1 緑の保全・創出・育成	施策による緑地の保全面積(法・条例等により保全されている面積)	○
	施策による農地の保全面積(農業振興地域農用地区域内農地、生産緑地地区内農地等)	○
	緑化地面積(公共施設等の緑化地創出面積)	○
	公園緑地面積(都市公園等の整備面積)	○
	市民植樹運動による累計植樹本数	
Ⅲ-2 健全な水循環の確保	透水性舗装道路面積	
	湧水地周辺整備数	○
	河川流量	○
	下水の高度処理普及率	
	環境整備延長	○
Ⅲ-3 生物多様性の保全	市民一人一日当たりの生活用水使用量	○
	自然観察会等実施状況	○
	市内の動植物等確認種数	○
Ⅲ-4 都市アメニティの増進	保全管理計画作成地区数	○
	景観計画特定地区数	○
	都市景観形成地区数	○
	バリアフリー導入施設数	○
	指定文化財等件数	○
	公園緑地面積(都市公園等の整備面積)(再掲)	
レクリエーション施設の数		

## 施策の方向 III-1 緑の保全・創出・育成

指標	目標・現状・指標がめざす方向
施策による緑地の保全面積 (法・条例等により保全されている面積)	【目標】2027年度までに300ha(※1) 【基準年度】241ha(2016年度) 【指標がめざす方向】多いほうが良い
施策による農地の保全面積 (農業振興地域農用地区域内農地、生産緑地地区内農地等)	【目標】2027年度までに343ha(※1) 【基準年度】368ha(2016年度) 【指標がめざす方向】現状維持
緑化地面積 (公共施設等の緑化地創出面積)	【目標】2027年度までに362ha(※1) 【基準年度】357ha(2016年度) 【指標がめざす方向】多いほうが良い
公園緑地面積 (都市公園等(※2)の整備面積)	【目標】2027年度までに830ha(※1) 【基準年度】776ha(2016年度) 【指標がめざす方向】多いほうが良い
市民植樹運動による累計植樹本数	【目標】2027年度までに150万本以上(※1) 【基準年度】80万本(2016年度) 【指標がめざす方向】多いほうが良い

※1 2018年3月策定の「川崎市緑の基本計画」に基づく目標数値

※2 都市公園等：都市公園、臨海公園等

目標・指標の達成状況	指標評価	方向評価
<b>■指標：施策による緑地の保全面積</b> ・特別緑地保全地区や緑の保全地域等は計246ha(対前年度：3ha増加、対基準値：少ない)	2*	3
<b>■指標：施策による農地の保全面積</b> ・農業振興地域農用地区域内農地や生産緑地地区内農地等は計361ha(対前年度：3ha減少、対基準値：少ない)	1*	
<b>■指標：緑化地面積</b> ・公共施設等の緑化地面積は計361ha(対前年度：増減なし、対基準値：多い)	4.5*	
<b>■指標：公園緑地面積</b> ・都市公園や臨海公園等の整備面積は計791ha(対前年度：6ha増加、対基準値：同値)	3.5*	
<b>■指標：市民植樹運動による累計植樹本数</b> ・市民植樹運動による累計植樹本数は約103万8千本(対前年度：約8万9千本増加、対基準値：多い)	5	

[方向評価は「\*」の付いた指標評価の平均値をもとに評価しています]

### 現 状

#### ■施策による緑地の保全面積

緑地の目標である300haに対し、2019年度末の法律、条例等の施策により保全されている緑地面積は約246haです。

法律、条例等の施策により保全されている主な緑地は、次のとおりです。

- ・特別緑地保全地区は78か所、134.0haで、3.8haの増加
- ・緑の保全地域は34か所、31.5haで、前年度から0.3haの増加
- ・緑地保全協定は120か所、70.56haで、前年度から増減なし
- ・保存樹林は、37か所4.8haで、前年度から0.3haの増加
- ・ふれあいの森は、11か所5.1haで、前年度から増減なし
- ・保安林は、4か所、1.0haで前年度から増減なし

#### 保全施策がされている緑地面積の推移

	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
施策による緑地の保全面積 ※特別緑地保全地区、緑の保全地域等、 法・条例等により保全されている緑地面積	212	218	223	229	232	236	241	242	243	246